

ガンナイフウロ

Geranium onoei Franch. et Sav. var. *onoei* f. *onoei*
フウロソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地に限られる。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越にのみ分布する。

種の特徴

高地の草地に生える多年生草本。高さ 30～50 cm。茎、葉柄に腺毛と開出毛が生える。茎葉は互生、上部で対生し、幅 5～12 cm、掌状に 5～7 深裂し、粗い鋸歯がある。花期は 6～8 月。花は紅紫色、花弁は 5 個。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献 門田裕一ほか（2013）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

エゾミソハギ

Lythrum salicaria L.
ミソハギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の産地は 3 箇所のみ。個体数が限られる。湿地や河川の開発により産地が消滅する可能性が高い。

分 布

北海道～九州に分布。県内では永平寺町、坂井市、福井市で採集されている。

種の特徴

湿地に生える多年生草本。茎は高さ 50～150 cm。茎や葉、花序に短毛がある。葉は対生または 3 輪生し、長楕円形、長さ 3.5～6.5 cm、基部は茎を抱く。花期は 7～8 月。茎の先に穂状花序をつける。花は紅紫色、花弁は 6 個。蒴果は 4 裂する。

生育を脅かす要因

河川工事、湿地開発、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○	○						○

ウシタキソウ

Circaea cordata Royle
アカバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本種は全国的には普通種である地域も多いが、県内における既知の生育地は数地点に限られ個体数も少ない。

分 布

北海道～九州に分布。県内では池田町、大野市での記録がある。

種の特徴

山地帯の林床等湿り気のある場所に生える高さ 40～60 cm の多年草。全草に柔らかい長毛と開出短毛を密生し、褐色を呈する。葉には長い葉柄があり両面有毛、卵心形～卵形で基部は心形～円形になる。花期は 8～9 月。花は白色で花弁は 2 裂する。

生育を脅かす要因

森林伐採、生育地へのシカの分布拡大による食害。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	